

## 令和元年期5月理事会

### 議事録

令和元年5月10日午後9時00分、一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と共に生きる人々の会、事務局（東京都日野市高幡1004番地の3 ラ・ヴィ・エゼー303）において、理事4名（総理事数5名）及び監事 白柳 一美 出席のもとに理事会を開催した。なお、下記議案につき可決確定の上、午後9時53分に散会した。

出席理事	西野 明樹	（代表）（議長兼議事録作成者）
	倉嶋 麻理奈	ビデオ会議システムを利用した出席
	永沼 利一	ビデオ会議システムを利用した出席
	上田 直志	ビデオ会議システムを利用した出席
	米田 未那	欠席
出席監事	白柳 一美	

理事 西野 明樹 は、議長となり、本日の理事会はビデオ会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同様に適時・的確な意思表示が互いにできる状態となっていることを確認した。

### 報告事項

#### 1) 南東北支部について

現地の方々と交流し、本法人のリーフレットを渡してきました。今後の連携については現地のメンバーらで検討してご連絡いただけるそうです。

#### 第1号議案 特例法アンケートに関する件

西野代表は、特例法アンケートで問う項目について、前回理事会で提案された項目案なども踏まえ、各理事らから意見をもらいたい旨を述べた。

倉嶋理事は、SRS 要件が必須だと、様々な（心身状態の）事情で SRS ができない人が適

用されないため、どういう判断基準を設ける必要があるかについて会員の意見を聞きたい。SRS をしない戸籍を変更する人を日本の社会が受け入れられるかについて当事者側の気持ちを集約する必要があるのではないかと述べた。上田理事は、性別が必ずしも性器と結びついていないことがある現状を踏まえると SRS 要件はなくてもいいかもしれないが、社会の受け入れを考えると難しさも感じると述べた。永沼理事は、SRS が要件にあらうがなかろうが受ける人は受けるのではないか。SRS を受けなくても満足できる人はそれでそれなりに社会に適応しているように感じると述べた。

理事等で慎重に審議したが、特例法の手術要件の要否については理事会での審議だけでは統一見解を持つことは難しく、ニュートラルな立場で広く当事者の声を掬い上げられる項目が必要であるとの意見で一致した。次回理事会でも継続審議することとなった。

#### **次回理事会の開催日時**

令和元年期 6 月理事会は、令和元年 6 月 3 日（金）午後 9 時から行う。

以上の決議等を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事並びに出席監事がこれに記名押印する。

令和元年5月10日

一般社団法人 g i d . j p 日本性同一性障害と共に生きる人々の会理事会

議長 代表 **西野 明樹**

副代表 **倉嶋麻理奈**

理事 **上田 直志**

同 **米田 未那**

同 **永沼 利一**

監事 **白柳 一美**

以下余白